

大和証券グループの社会的使命

持続可能な社会づくりのために、お金は大きな役割を担っています。

金融に社会的な視点を組み込み、問題を解決する方向にお金の道筋をつけることは、大和証券グループの社会的使命です。

■ 「持続可能な社会の実現」が企業の社会的責任(CSR)

現代の人間社会は、温暖化、自然環境の悪化など、持続可能性が危惧されるさまざまな問題を抱えています。これらは、公共機関や企業、市民など、すべての主体が自分自身に責任を持って行動していかなければ解決できない大きな課題です。

今や企業は、その経済力により社会全体に大きな影響力を持ち、持続可能な社会の実現が可能かどうかを左右するキープレイヤーとなっています。

なかでもお金を扱う金融機関は、本業である金融を通じた明確な社会的な使命を担っています。

その使命は、資金を調達する側と、運用する側を結びつけるという、公共的で社会全体の基盤的な役割です。さらに、お金を集め、配分することによって、持続可能な社会の実現のために道筋をつけることだと考えます。

■ 社会的な視点を金融に組み込む

現在、「金融に社会的な視点を組み込む」という考えに沿ったさまざまな動きがあります。

国連機関である国連環境計画(UNEP)と世界各国金融機関のパートナーシップである国連環境計画・金融イニシアティブは、環境と持続可能性(サステナビリティ)に配慮した金融事業のあり方を追求し、これを普及・促進することを目的として1992年より活動をしています。

2006年4月、UNEP FIと国連グローバル・コンパクトは、機関投

資家が投資の意思決定プロセスにおいて環境・社会・ガバナンス(ESG)の側面を組み込むための投資原則「責任投資原則(PRI: 右下図参照)」を発表し、これに世界の主要な金融機関が署名しました。

大和証券グループ本社は2004年11月にUNEP FIに加盟、またPRIには資産運用業務を行なう大和証券投資信託委託が2006年5月に署名しました。

また大和証券グループ本社は、2004年3月、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)^{*1}に署名しています。

^{*1} カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP): 気候変動問題に関心を持つ機関投資家が連携し、グローバル企業に対して環境問題への姿勢や取組みに関する情報開示を要求するプロジェクト。

大和証券グループ 企業理念(1998年3月制定)

「信頼の構築」

お客様からの信頼こそが、大和証券グループの基盤である。お客様を第一に考える誠実さと高い専門能力により、最も魅力ある証券グループとなる。

「人材の重視」

大和証券グループの競争力の源泉は人材である。社員一人ひとりの創造性を重視し、チャレンジ精神溢れる自由闊達な社風を育み、社員の能力、貢献を正しく評価する。

「社会正義の貫徹」

大和証券グループに誇りと繁栄をもたらすものは、社会正義の貫徹と、内外のお客様、市場、社会からの信用である。高潔な職業倫理と公正な行動規範により、社会の発展に貢献する。

「健全な利益の確保」

健全なビジネス展開を通じて企業価値を高めることは、株主に対する責務である。大和証券グループはお客様に価値あるサービスを提供して適正な利益を獲得し、株主に報いる。

PRI(責任投資原則)

PRI(Principles for Responsible Investment)とは、機関投資家が、投資において企業の環境・社会・ガバナンス(ESG)の側面を考慮することを示したガイドラインのことです。その特徴は、金融機関の本業のひとつである資産運用の面においてCSRの考え方が表わされたことや、長期投資においてのSR(社会的責任投資)を主流にするための道筋が示されたこと、そして運用者の長期的評価の必要性が盛り込まれたことなどです。PRI原則は以下の6つから構成されています。

1. 投資分析や意思決定にESGの事項を組み入れる
2. 積極的な株主として、株式所有の方針や取組みにESGを組み入れる
3. 投資先にESGについての開示を要請する
4. 本原則を業界に広める
5. 原則実行のために協力する
6. 原則に関する活動を報告する

PRI(責任投資原則) ▶ <http://www.unpri.org/principles/japanese.html>

■ 持続可能な社会実現のための5つのアプローチ

社会に必要とされる事業活動の遂行

証券会社の事業は、企業など資金の調達を必要とする側と、資金を運用したいという投資家の橋渡しをすることにより、「貯蓄から投資へ」の流れを後押しする、公共性の高い事業です。

法令遵守はもとより、社会通念と調和した業務を日々遂行し、証券市場の健全な機能発展に尽くします。

社会・環境配慮型事業

「金融に社会的視点を組み込む」という、金融機関に求められるCSRの姿を具現化する事業を推進します。具体的にはSRIファンド、クールボンド*1など、一般投資家が環境・社会的問題の改善に寄与・参画できる投資機会を提供します。

社外へのCSR推進活動

金融業界を含め、あらゆるステークホルダーに向けて、UNEP FI、PRIやCDPなどの考え方を中心としたCSR推進の働きかけや提

言を行なっていきます。

企業市民活動

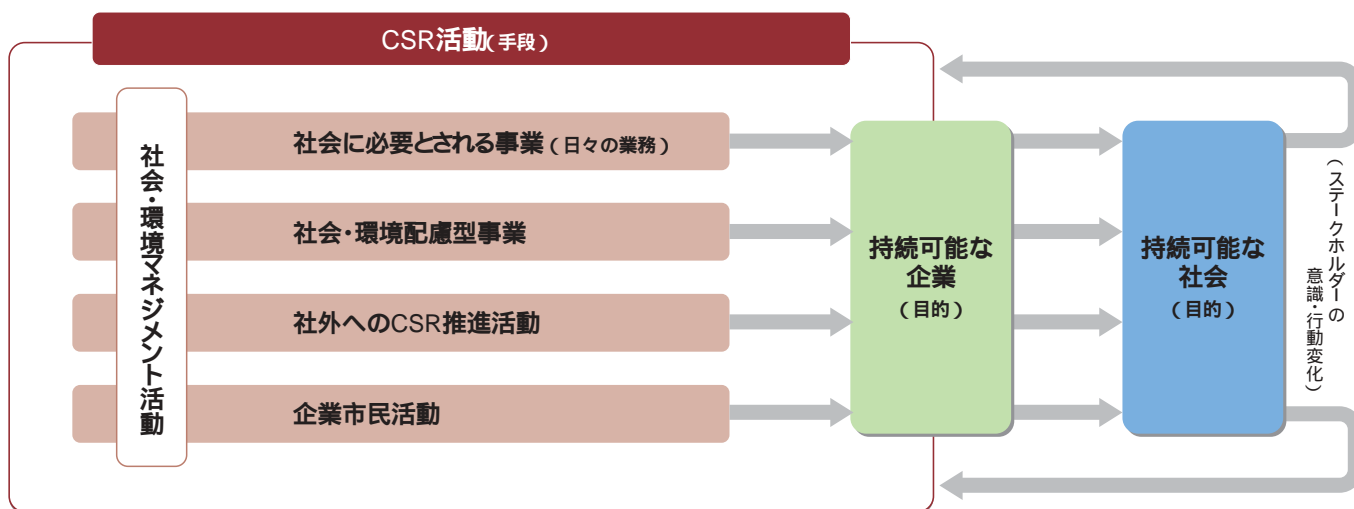
経済・金融のプロフェッショナルとして、次世代の育成に取り組み、「中期経営計画」でも経済金融教育の推進を目標に掲げました。また、財団やNPO等を通じた地域社会・国際社会への助成活動により、本業である金融の仕組みを活かした長期的支援を今後も継続していきます。

社会・環境マネジメント活動

自らの事業活動における社会的側面および環境面での配慮をすすめます。コンプライアンスの徹底、お客様満足、職場環境の向上を図るとともに、環境マネジメントシステムの構築と従業員の環境意識向上に努め、当社グループの最大の直接的負荷である紙の削減をすすめています。

*1 クールボンド：詳しくはP9-10をご参照ください。

大和証券グループ 持続可能な社会実現のための5つのアプローチ



■ 今後の課題

「金融に社会的な視点を組み込む」と、いくら金融機関がうたっても、お客様に受け入れられなければ成り立ちません。今後そのような考え方が世の中に広まるためには、社会的に優れた取組みを行なう企業への市場の評価が高まり、SRIファンドなど社会的視

点を組み込んだ投資のパフォーマンスが上がるのが大きな鍵です。SRIの有効性をどのように実証していくか、それが大和証券グループの今後の課題であると考えます。